

諏訪町ゆっとでは、「ゆっと会員」、「広報部会・交流部会の部会員」を募集しています。

【平成 25 年度事業計画が決定しました】

紙面の関係で詳細を記載することは出来ませんが、活動報告では、昨年度入会者数は 22 名、現会員数 139 名であること、専門相談機関への相談件数 8 件あったことなどが報告されました。徐々にではありますが、「諏訪町ゆっと」の活動が地域に定着してきています。

平成 25 年度事業計画では、重点活動として、

- ①ゆっとの会員増強の推進（200 名を目指します。）
- ②自治会ごとの区割りを中心とした地区活動の推進
- ③見守りの対象を高齢者以外まで拡大することの検討等に積極的に取り組むことが承認されました。

また、東村山市の助成金が平成 24 年度で終了することに伴い平成 25 年度の財源について、東村山市社会福祉協議会の「地域福祉活動助成」の申請を行い、交付が決定しました。



【ゆっと NOW】「諏訪町防災まち歩き」が行われました。

3月2日(土)「諏訪町防災まち歩き」に参加してきました。これは、「諏訪町防災を考える会」(諏訪町ゆっとも協賛しています。)を中心に作成している防災マップづくりの取り組みの一環で、全住民対象に行われたイベントです。

朝9時半、春一番の強風が吹き荒れる中、110名以上の方が諏訪神社に集合しました。グループに分かれて、消火器体験や担架づくり体験をした後、それぞれ班長の引率によって、約1時間、まち歩きを実施しました。ルートは、徳蔵寺、白十字病院、化成小裏をまわり、諏訪町を1周するというものでした。幹事の皆さんが作成した、消火栓や災害用井戸、危険箇所等のポイントが書いてある資料を見ながら歩いたので、1つ1つ丁寧に確認することができ、大変有意義なものでした。

境内に戻ってくると、「諏訪町自治会自主防災隊」の方々が温かい豚汁とアルファ米を用意して下さっており、美味しく頂きながら、一緒に歩いた皆さんと感想を述べ合いました。

目的をもってまちを歩くと、見えてくる景色が違います。また、一緒に参加した方とも交流できる良いきっかけにもなります。ぜひ、このような取り組みを継続して、まち全体で防災について考えていけたら、と思いました。



【投稿】「絆」とは

先年の東北大震災以後「絆」という言葉がとり上げられ、さかんに耳にするようになった。辞典によれば「絆とは、本来動物などをつなぎとめる綱である。転じて断とうにも断ち切れない人の間の結びつきとある。昔は「向こう三軒両隣り」の言葉の通り、近隣、地域の繋がりはたいへん緊密なものがあつた。

しかし現在では、この関係が疎遠になっている現況である。時代の流れはあるがややさみしい思いがある。いささか郷愁になるが昭和 38 年、この地に転居した頃の思い出を述べてみたい。

東京の 13 番目の市として東村山市が誕生したのは、昭和 39 年 4 月で、その当時の諏訪町（それまでは、大字野口の地名）はまわりは一面の麦畑でヒバリが鳴くさびしい農村であつた。北山自治会は当時入居者（約 23 世帯）で相談し、1 月 1 日に空地に全員集まり、焚火を囲み賀詞交換の「新年顔合せ」の集いを実施することが恒例になった。各戸毎家族を紹介し新年の歌を合唱し、乾杯した。子供たちにはお菓子やミカンなどを与えた。その後いつしか空地はなくなり、また焚火禁止等で中止になった。時代とともに各地のこうした楽しい集いは次第になくなり、近所、地域とも疎遠になってきた。一旦中止するとどんな望ましい慣習でもなかなか復帰するのは難しく、その実現には多くの課題はある。

しかし、いざと言う場合には、地域の絆が大切なことは言うまでもないことである。「温故知新」ということがよく言われるが、それぞれの知恵を出し合い次の世代によい慣習をバトンタッチしたものである。

諏訪町二丁目 仙頭 澄夫

【トピックス】「諏訪町寿会に福祉ボランティア部が発足しました。」

諏訪町寿会では今度組織を強化し、より活動を発展充実させる目的で広報部と福祉ボランティア部（略称福ボラ）を 4 月 1 日より発足させました。この福ボラについて少し説明させていただきます。

老人会（寿会）は「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動を中心に高齢者の「生きがい」活動、「健康」保持活動を推進し、地域社会に貢献する事にあります。わが寿会に於いては七つの同好会等通じ健康生きがいを高める活動は一定の成果をあげています。ただ、友愛奉仕の面では、担当する部署もなく多忙な会長を中心とした活動に制限されていまして。その反省から既に事業として定着している「化成小のパトロール」「諏訪神社や町内一斉清掃」「諏訪町ゆっと」「諏訪町防災を考える会」への参加等を会長代行として担当することとなりました。

今後の課題として寿会の会員も高齢化が進み既存の組織活動に参加できず見守りが必要な会員が増えています。そうした人たちへの見守り支援を福ボラとして活動してまいります。皆様方のご支援ご指導をお願い申し上げます。



福祉ボランティア部部長 的場 好弘

【編集後記】ついこの間満開だった桜もすっかり葉が茂り、若葉が目にしみる季節となりました。高齢者等の見守り団体も秋津あんしんネット・青葉町安心ネットワークが発足し、高齢者等の見守り活動の若木もいつかは花を咲かし、どっしりと根を張った大木になることを願っています。そんなことを思いながら、新緑の鮮やかな八国山を歩く今日この頃です。

広報部会 斉藤 武彦

ご意見・ご要望がありましたら、下記事務局までご連絡ください。

【事務局】東村山市社会福祉協議会 まちづくり支援係 (TEL 042-394-6333)

「この事業は、社会福祉協議会 地域福祉活動助成金を受けて実施しています。」